



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月6日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タカラトミー
コード番号 7867 URL www.takaratomy.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富山 彰夫
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員連結管理本部長 (氏名) 廣岡 勝史 TEL 03-5654-1548
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	53,586	24.3	4,157	65.9	3,661	57.1	2,507	38.8
2024年3月期第1四半期	43,102	9.0	2,506	50.5	2,330	74.5	1,805	145.6

（注）包括利益 2025年3月期第1四半期 7,215百万円（11.9%） 2024年3月期第1四半期 6,451百万円（△2.3%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	27.84	27.83
2024年3月期第1四半期	19.72	19.70

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	164,597	101,547	61.7	1,133.68
2024年3月期	166,252	99,999	60.1	1,104.07

（参考）自己資本 2025年3月期第1四半期 101,513百万円 2024年3月期 99,966百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	17.50	—	32.50	50.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	24.00	—	24.00	48.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 24円50銭 記念配当 8円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	110,000	14.5	9,000	12.3	8,700	18.2	6,000	6.9	65.90
通期	230,000	10.4	20,000	6.3	19,500	9.5	12,500	27.4	137.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	93,616,650株	2024年3月期	93,616,650株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	4,072,977株	2024年3月期	3,072,841株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	90,060,225株	2024年3月期1Q	91,581,157株

(注) 当社は「役員向け株式交付信託」及び「執行役員等向け株式交付信託」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「役員向け株式交付信託」及び「執行役員等向け株式交付信託」に残存する自社の株式は、1株当たり純資産の算定上、期末発行済株式総数より控除する自己株式に含めており、また、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

今後の見通しにつきましては、5ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

機関投資家・アナリスト向けの決算説明会につきましては、2024年8月6日にテレフォンカンファレンスにて実施する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

(2025年3月期第1四半期連結累計期間におけるハイライト)

当社を取り巻く経営環境は、日本においては足踏みがみられるものの、雇用・所得環境が改善する中で各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続きました。一方、欧米における高い金利水準の継続に伴う為替、経済への影響や、中国経済の先行き懸念など、不透明な状況は継続しました。

2024年5月に発表した「中長期経営戦略 2030」では、価値創造モデルを新たに構築し、年齢軸・地域軸を成長ドライバーに事業規模の拡大を図り、事業戦略とそれを支えるコーポレート戦略を相互に連携させることで、2030年3月期に売上高3,000億円、営業利益率10%の達成を目指しています。

本戦略のスタートとなる当第1四半期において、タカラトミーでは、昨年7月より日本およびアジアで展開の「BEYBLADE X (ベイブレードエクセス)」が「ベイブレードは、スポーツへ。」をテーマとした年齢・地域を超えたブランディング施策の推進により、販売が拡大しました。さらに、欧米に向けた輸出を開始するなどグローバル展開が本格化しました。また、5月には、幅広い顧客層に向け、大人気コミック「名探偵コナン」をトレーディングカードゲームとして展開することで、新たな売上となりました。

タカラトミーアーツでは、「ぬいぐるみ」等のポケットモンスター関連商品が伸長したことに加え、「ガチャ」においては、キャラクター商品をはじめとしたアイテム数の拡大やカプセルトイ専門店等への設置を進めるとともに海外展開を拡大するなど、好調な推移となりました。

キデイランドでは、昨年に引き続き新鮮で話題性の高いキャラクター商品や雑貨を扱うなど、国内外の幅広い年齢層から人気を集めています。そのような中、「ちいかわ」をはじめとしたキャラクターの人気継続やインバウンド需要のさらなる高まりもあり、原宿店、梅田店をはじめとした旗艦店やキャラクター専門店が好評を博すなど、好調な推移となりました。

また、コーポレート戦略の一環として、ジョブ型人事制度への改定や出産育児祝い金制度の新設をはじめとした両立支援の拡充等、人事諸制度の改定を6月に発表するなど、持続的な成長を推進する為の体制整備を行いました。

このような取組みの結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、タカラトミー、タカラトミーアーツ、キデイランドが大幅に伸長するなど、日本が好調に推移するとともに、アジアも堅調な推移となりました。欧米豪においては低調な玩具市況の中、底堅く推移したこともあり、売上高は53,586百万円（前年同期比24.3%増）と2期連続で過去最高となりました。

また、売上高の増加に伴う売上総利益の伸長に加え、販売費及び一般管理費の効率的な運用を図ったこと等により、営業利益は4,157百万円（前年同期比65.9%増）、経常利益は3,661百万円（前年同期比57.1%増）といずれも2期連続で過去最高を更新し、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2,507百万円（前年同期比38.8%増）となるなど、新たな経営体制のもと順調な滑り出しとなりました。

(経営成績の概況)

<セグメント別業績の概況>

(単位：百万円)

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減	増減率(%)
売上高	43,102	53,586	10,483	24.3
日本	36,521	46,521	10,000	27.4
アメリカズ	5,936	6,383	447	7.5
欧州	770	931	161	20.9
オセアニア	593	603	9	1.7
アジア	14,079	17,481	3,402	24.2
消去又は全社	△14,797	△18,335	△3,537	—
営業利益又は営業損失(△)	2,506	4,157	1,651	65.9
日本	3,719	5,457	1,738	46.7
アメリカズ	△274	△221	52	—
欧州	△272	△261	11	—
オセアニア	58	9	△48	△83.3
アジア	417	746	329	78.8
消去又は全社	△1,142	△1,574	△431	—

<日本>

(単位：百万円)

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減
売上高	36,521	46,521	10,000
営業利益	3,719	5,457	1,738

タカラトミーでは、昨年7月に展開を開始した現代版ベゴマ「BEYBLADE X」が「バイブレードは、スポーツへ。」をテーマとした年齢・地域を超えたブランディング施策の推進により、販売が拡大しました。さらに、欧米に向けた輸出を開始するなどグローバル展開が本格化しました。また、5月には、幅広い顧客層に向け、人気コミック「名探偵コナン」をトレーディングカードゲームとして展開することで、新たな売上となりました。2021年に展開開始した自社IP「ぷにるんず」は、日本・アジア地域での人気を受け、欧米向けの輸出がスタートするなど、グローバルコンテンツ化に向けた成長を続けています。また、デジタル事業では、「デュエル・マスターズ プレイス」においてVTuberグループ「ホロライブ」とのコラボレーションが話題となるとともに、昨年10月に発売した「人生ゲーム for Nintendo Switch™」が引き続き人気を集めました。

タカラトミーアーツでは、「ぬいぐるみ」等のポケットモンスタ関連商品が伸長したことに加え、「ガチャ」においてはキャラクター商品をはじめとしたアイテム数の拡大やカプセルトイ専門店等への設置を進めるとともに海外展開を拡大するなど、好調な推移となりました。また、アミューズメントマシンにおいては、「ポケモンメザスタ」が後継機への入れ替え準備もあり一時的に稼働率が低下したものの、「ひみつのアイプリ」を4月に新規導入するなど、堅調な推移となりました。

キデイランドでは、昨年に引き続き新鮮で話題性の高いキャラクター商品や雑貨を扱うなど、国内外の幅広い年齢層から人気を集めています。そのような中、「ちいかわ」をはじめとしたキャラクターの人気継続やインバウンド需要のさらなる高まりもあり、原宿店、梅田店をはじめとした旗艦店やキャラクター専門店が好評を博すなど、好調な推移となりました。

以上の結果、売上高については46,521百万円（前年同期比27.4%増）、営業利益は5,457百万円（同46.7%増）となりました。

<アメリカズ>

(単位：百万円)

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減
売上高	5,936	6,383	447
営業損失(△)	△274	△221	52

玩具市場全体の低迷により、農耕車両玩具の販売が減少したものの、「Boon」をはじめとしたベビー用品や玩具&ホビー商品の販売が堅調に推移しました。Fat Brain Holdings, LLCの売上高は前年同期を上回りました。これらにより、売上高は6,383百万円(前年同期比7.5%増)となりました。利益面におきましては営業損失が221百万円(前年同期営業損失274百万円)となりました。

<欧州>

(単位：百万円)

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減
売上高	770	931	161
営業損失(△)	△272	△261	11

玩具市場全体が低調に推移したものの、バストイ等の玩具&ホビー商品や農耕車両玩具が好調に推移したことから、売上高は931百万円(前年同期比20.9%増)、営業損失は261百万円(前年同期営業損失272百万円)となりました。

<オセアニア>

(単位：百万円)

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減
売上高	593	603	9
営業利益	58	9	△48

低調な玩具市況もあり、農耕車両玩具の販売が減少しました。一方、タカラトミーアーツの「ガチャ」の販売が伸長し、グループシナジーの効果を上げるとともに、ベビー用品の販売が堅調に推移しました。これらにより、売上高は603百万円(前年同期比1.7%増)となりました。営業利益は輸送コストの増加等による売上総利益率の悪化もあり、9百万円(同83.3%減)となりました。

<アジア>

(単位：百万円)

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減
売上高	14,079	17,481	3,402
営業利益	417	746	329

アジアでは、「トミカ」の中国における販売拡大に加え、「トミカプレミアム」がKidults(キダルト)に人気となるなど好調に推移しました。また、昨年7月より玩具販売を開始している「BEYBLADE X」では、各地でアニメ放映が開始となるなど展開が本格化しました。さらに、「名探偵コナンカードゲーム」シリーズを日本と同時期の5月に香港、韓国、台湾をはじめとした9つの国と地域で販売開始し注目を集めました。加えて、生産子会社であるTOMY(Hong Kong)Ltd.では「BEYBLADE X」をはじめとした海外向け輸出が増加したこと等もあり、売上高は17,481百万円(前年同期比24.2%増)、営業利益は746百万円(同78.8%増)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

[資産、負債及び純資産の状況]

<資産>

流動資産は、前連結会計年度末に比較して4,557百万円減少し、113,004百万円となりました。これは主として、商品及び製品、受取手形及び売掛金が増加した一方で、現金及び預金が減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比較して2,902百万円増加し、51,593百万円となりました。これは主として、投資その他の資産が減少した一方で、有形固定資産、無形固定資産が増加したことによるものです。

<負債>

流動負債は、前連結会計年度末に比較して2,506百万円減少し、51,215百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が増加した一方で、未払法人税等、未払金、未払費用が減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比較して696百万円減少し、11,834百万円となりました。これは主として、繰延税金負債が増加した一方で、長期借入金が減少したことによるものです。

<純資産>

純資産は、前連結会計年度末に比較して1,547百万円増加し、101,547百万円となりました。これは主として、自己株式の取得があった一方で、為替換算調整勘定、繰延ヘッジ損益が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年5月14日に公表のとおりであり、変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	64,279	49,110
受取手形及び売掛金	25,260	27,891
商品及び製品	17,716	22,387
仕掛品	653	739
原材料及び貯蔵品	1,093	1,199
その他	8,778	11,911
貸倒引当金	△220	△235
流動資産合計	117,561	113,004
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,010	14,142
減価償却累計額	△9,787	△9,771
減損損失累計額	△921	△927
建物及び構築物(純額)	3,301	3,443
機械装置及び運搬具	2,949	3,018
減価償却累計額	△2,496	△2,570
減損損失累計額	△36	△37
機械装置及び運搬具(純額)	417	410
工具、器具及び備品	26,371	27,000
減価償却累計額	△24,240	△24,817
減損損失累計額	△1,080	△1,138
工具、器具及び備品(純額)	1,050	1,043
土地	3,958	3,974
リース資産	7,137	7,354
減価償却累計額	△3,457	△3,540
減損損失累計額	△449	△477
リース資産(純額)	3,229	3,336
使用権資産	2,760	2,778
建設仮勘定	1,183	2,968
有形固定資産合計	15,901	17,955
無形固定資産		
のれん	13,135	13,480
その他	12,465	13,151
無形固定資産合計	25,600	26,631
投資その他の資産		
投資有価証券	3,426	3,336
繰延税金資産	1,671	1,507
その他	2,109	2,182
貸倒引当金	△19	△20
投資その他の資産合計	7,188	7,006
固定資産合計	48,690	51,593
資産合計	166,252	164,597

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,598	19,453
1年内返済予定の長期借入金	6,183	5,416
リース債務	3,274	3,236
未払金	10,425	8,522
未払費用	10,913	9,690
未払法人税等	4,520	1,256
引当金	555	413
その他	3,250	3,226
流動負債合計	53,722	51,215
固定負債		
長期借入金	4,181	3,283
リース債務	3,259	3,438
繰延税金負債	385	628
再評価に係る繰延税金負債	472	472
引当金	376	333
退職給付に係る負債	2,132	2,122
その他	1,724	1,556
固定負債合計	12,530	11,834
負債合計	66,252	63,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,459	3,459
資本剰余金	6,818	6,818
利益剰余金	66,920	66,471
自己株式	△3,980	△6,692
株主資本合計	73,218	70,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,682	1,624
繰延ヘッジ損益	2,348	3,504
土地再評価差額金	624	624
為替換算調整勘定	22,174	25,811
退職給付に係る調整累計額	△82	△107
その他の包括利益累計額合計	26,747	31,456
新株予約権	33	33
純資産合計	99,999	101,547
負債純資産合計	166,252	164,597

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	43,102	53,586
売上原価	26,109	32,721
売上総利益	16,993	20,865
販売費及び一般管理費	14,486	16,707
営業利益	2,506	4,157
営業外収益		
受取利息及び配当金	143	73
受取賃貸料	36	49
その他	57	35
営業外収益合計	237	158
営業外費用		
支払利息	226	103
為替差損	93	455
その他	92	95
営業外費用合計	412	654
経常利益	2,330	3,661
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産売却損	3	—
固定資産除却損	3	10
特別損失合計	6	10
税金等調整前四半期純利益	2,327	3,650
法人税等	521	1,143
四半期純利益	1,805	2,507
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,805	2,507

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1,805	2,507
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	287	△58
繰延ヘッジ損益	1,427	1,155
為替換算調整勘定	2,966	3,636
退職給付に係る調整額	△36	△25
その他の包括利益合計	4,645	4,708
四半期包括利益	6,451	7,215
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,451	7,215
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	アメリカズ	欧州	オセアニア	アジア	合計
売上高						
外部顧客への売上高	32,523	5,922	765	593	3,297	43,102
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,997	13	4	—	10,781	14,797
計	36,521	5,936	770	593	14,079	57,900
セグメント利益又は損失(△)	3,719	△274	△272	58	417	3,648

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,648
セグメント間取引消去	△161
全社費用(注)	△980
四半期連結損益計算書の営業利益	2,506

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	アメリカズ	欧州	オセアニア	アジア	合計
売上高						
外部顧客への売上高	41,955	6,368	931	603	3,728	53,586
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,566	15	—	—	13,753	18,335
計	46,521	6,383	931	603	17,481	71,921
セグメント利益又は損失(△)	5,457	△221	△261	9	746	5,731

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,731
セグメント間取引消去	△368
全社費用(注)	△1,205
四半期連結損益計算書の営業利益	4,157

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	1,572百万円	1,363百万円
のれんの償却額	469	477